
行政視察レポート

令和7年7月29日(火)～31日(木)

鹿児島県 薩摩川内市、鹿児島市、指宿市

総務文教委員会

■視察先

- ①薩摩川内市・・・閉校跡地利活用制度について
- ②鹿児島市・・・地域主体型コミュニティ交通運行支援モデル事業について
- ③鹿児島市・・・フレンドステップ・メタバース導入事業について
- ④指宿市・・・令和5年度稼ぐ市役所職員提案制度について

■参加者

職 名	氏 名
総務文教委員会 委員長	芦谷 英夫
総務文教委員会 副委員長	沖田 真治
総務文教委員会 委員	村武 まゆみ
総務文教委員会 委員	岡本 正友
総務文教委員会 委員	永見 利久
総務文教委員会 委員	西田 清久
議長	笹田 卓

(以下、視察資料からの引用あり)

①閉校跡地利活用（薩摩川内市）

【財産仕分けの取組】

- ①合併後17年が経過し、今後厳しくなる財政状況を踏まえ、平成25年2月に「公有財産利活用基本方針に基づく財産仕分け・利活用方針」を策定
- ②方針策定時の施設保有数1,230施設から令和2年度までに1,065施設を目標に維持管理経費削減に取り組んできた。
- ③これまでに市所有のホテルや公衆浴場を民間に譲与、貸付けを実施済み
- ④廃止ではなく、利活用を目標に事業推進を図る。

【閉校跡地利活用の概要】

26校中、利活用12、開業準備中2、
未利用11、解体1



①閉校跡地利活用（薩摩川内市）

【利活用状況（民間活用）】

- 旧南瀬小学校 = イタックス南瀬スクエア（イタックス南瀬トレーニングスクール）
 - ・ 事業者 : イタックス株式会社
 - ・ 事業内容: **テナント事業（外国人技能実習研修施設）**
※ 令和4年度に事業運営体制変更
- 旧山田小学校 = ベーシックトレーニングセンター山田
 - ・ 事業者 : 中小企業地域振興事業協同組合
 - ・ 事業内容: **外国人技能実習研修施設**
- 旧高江中学校 = 高江未来学校
 - ・ 事業者 : 株式会社オフィスHIGASHI
 - ・ 事業内容: **スポーツ拠点施設**

{

校舎 : 宿泊施設、食堂、テナント[4社]

体育館: バドミントンスクール

校庭 : サッカー練習場



①閉校跡地利活用（薩摩川内市）

【利活用状況（民間活用）】

➤ 旧東郷中学校 = 胡蝶蘭農園クレド

- ・ 事業者 : 株式会社Credo
- ・ 事業内容: **胡蝶蘭栽培事業**

〔校舎: 事務所、作業場、テナント[2社]
体育館: 胡蝶蘭出荷作業場、直売所
校庭: 胡蝶蘭栽培ハウス[10連棟〕

※ 現在、テナント事業者がフィットネスジムを開業。障がい者グループホームの開業準備中



①閉校跡地利活用（薩摩川内市）

【利活用状況（民間活用）】

➤ 旧陽成小学校 = PLAYSPLACE YOZEI

- ・ 事業者 : 株式会社FRONT-A

- ・ 事業内容: **スポーツ練習施設**

(体育館: 野球の室内練習場、プール: イベントスペース)

➤ 旧朝陽小学校 = 朝陽ワイナリー

- ・ 事業者 : 株式会社サードフォース

- ・ 事業内容: **ワイナリー事業**

校舎 : ワイナリー、食品加工所、
カフェコーナー、事務所、
テナント

体育館: 実業団バドミントン練習場

校庭 : 駐車場



①閉校跡地利活用（薩摩川内市）

【利活用状況（民間活用）】

- 旧倉野小学校 = 九州物流センター
 - ・ 事業者 : 株式会社ユアーショップ
 - ・ 事業内容: **物流倉庫**
〔校舎及び体育館 : 物流倉庫
校庭と校舎の1室: 地域へ開放〕
- 旧滄浪小学校 = SSB HOTEL 滄浪
 - ・ 事業者 : 株式会社ベーシック
 - ・ 事業内容: **宿泊施設**（シングル24室、大部屋8名、計32名収容）



①閉校跡地利活用（薩摩川内市）

【利活用状況（公的活用）】

- 旧浦内小 = エネルギー施設、消防団倉庫
- 旧倉野小 = ボーイスカウトの活動拠点施設
- 旧青瀬小 = かのか幼稚園及び下保育所へ転用
- 旧西方小 = まるごとささえ愛事業（Ⅰ階部分）

①閉校跡地利活用（薩摩川内市）

■閉校跡地利活用のための制度

【遊休公共施設等利活用促進条例】 ※平成28年4月制定

➤ 遊休公共施設の利活用を推進するため制度策定

- ① 土地、建物の減額譲渡 …… 評価額の1/10に減額
- ② 土地、建物の減額貸付及び10年後の無償譲渡
…… 貸付料を評価額の1.4/100に減額

更なる制度拡充の検討

【遊休公共施設等利活用促進条例の改正】 ※平成29年4月改正

➤ 閉校跡地の利活用をさらに推進するため

- | | |
|--|------|
| ③ 施設改修費補助金 …… 上限1千万円 | 地域向け |
| ④ 利活用促進補助金 …… 上限200万円×5年間 | |
| ⑤ 増築等助成金の交付(一部の解体含む)
……1閉校跡地につき、上限1億円(補助率1/2) | 企業向け |
| ⑥ 固定資産税の課税免除(3年間)…… 土地、建物、償却資産 | |

①閉校跡地利活用（薩摩川内市）

■制度活用のための要件・条件と市のメリット

【要件・条件】

- ①閉校跡地において、新たに、または移設して、若しくは、増設して事業を行うこと。
- ②新たに正規社員を1名以上採用すること。
- ③文部科学省の財産処分の承認後に事業着手となることを了承すること。

【市のメリット】

- ①閉校となった地域で事業が営まれることにより、地域の活性化が図られる。
- ②雇用が期待できる。
- ③毎年発生している維持・管理経費等を抑制できる。 など

※制度の詳細は、遊休公共施設等利活用促進条例

①閉校跡地利活用（薩摩川内市）

■委員会の考察

- ①合併後17年が経過した段階で、財産仕分け・利活用方針を策定し、施設保有数1,230施設から、令和2年度1,065施設を目標とし維持管理経費削減に取り組むなど、具体的な目標の設定、民間への譲与と貸付など、廃止ありきではなく、利活用を目標とすることは評価できる。
- ②そのため土地・建物などの減額譲渡、減額貸付と10年後の無償譲渡、評価額の減額、施設改修や利活用促進の補助、増築等助成金交付、固定資産税の課税免除など、利活用を促進するための支援策を創設するなどその姿勢は評価できる。
- ③事業者が事業行う場合、正規社員1名の採用などを条件とするなど、閉校となった地域の活性化を図ることを求め、市政と地域との一体感、連携が見てとれ、職員の政策立案の力の高さも感じられる。

②地域主体型コミュニティ交通運行支援（鹿児島市）

【ボランティア運送とは】

自家用自動車を用いた対価を受け取らない、住民どうしの助け合いによる運送で、道路運送法上の許可または登録を要しない運送の形態

【支援を行う目的】

地域が自主的に取り組むボランティア運送に対して支援を行うことで、公共交通を補い、地域交通の利便性を確保するため

【支援者の対象者】

本市に活動の拠点を置く地域コミュニティ協議会、町内会その他市長が適当と認めた団体

【支援の対象経費】

地域が主体となったボランティア運送の運行に要する経費

(1)燃料費、(2)利用調整にかかる人件費及びシステム手数料、(3)車両使用料、(4)運転者講習会の受講に要する費用、(5)移動サービス専用自動車保険料等



②地域主体型コミュニティ交通運行支援（鹿児島市）

■先行事例 = 桜島ボランティア運送事業

- 運営主体 桜峰校区コミュニティ協議会
- 運営方式 相乗り型
- 運行エリア 桜島地域等（市街地側や垂水市への買い物、通院もあり）
- 運行日 日曜日から土曜日まで（相乗りが成立した日）
- 運転手 地域住民（登録者数 約32人）
- 使用車両 運転手が保有する車両
- 利用方法 アプリ（LINE）又は電話で申込み
- 利用者の金銭給付 運送に係る実費（燃料代等）の半額を運転手に給付
（支払例）島内の病院まで ➡ 片道100円程度
垂水方面 ➡ 片道300円程度
- 平均利用者数 約18.4人/月（令和6年度）

②地域主体型コミュニティ交通運行支援（鹿児島市）

■ 委員会の考察

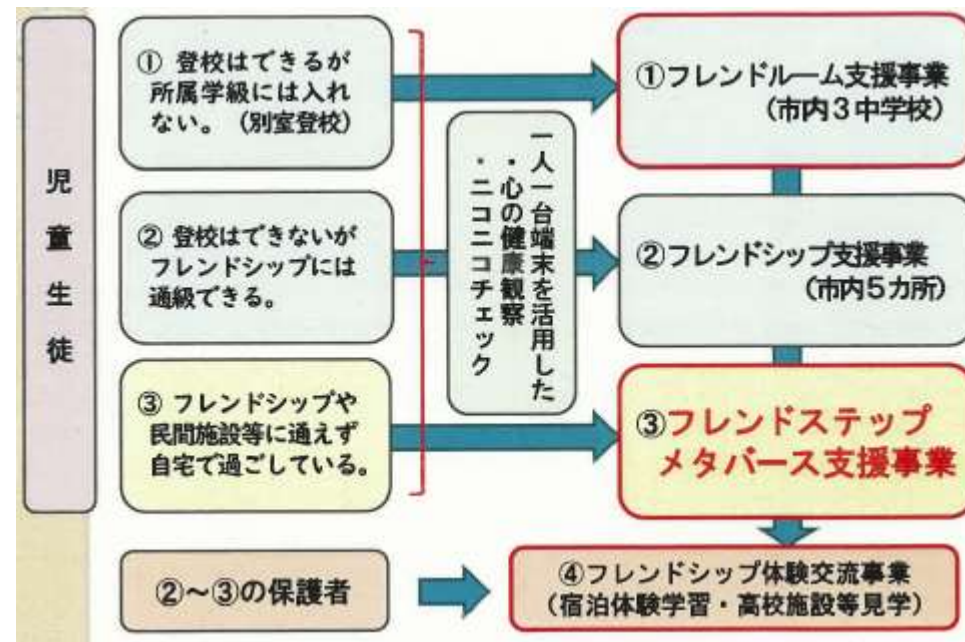
- ① ボランティア運送は、地域にある互助、共助の仕組みを高齢者などの移動手段の確保につなげるもので、協働のまちづくりを地域運営の柱としている浜田市としても参考にしたい事例である。
- ② 利用者負担は実費の半額とし、低廉で利用しやすく設定されており、住民の生活圏の維持、地域福祉の向上に貢献する取組であり、参考とすべき事例である。
- ③ 浜田市では高齢化や公共交通の縮小が進み、地域主体による移動手段の確保が必要となっており、自治会輸送の現状を踏まえ、運転手の確保や財政支援、運営体制づくりなど、全体的な制度の再編整理を検討すべきである。

③フレンドステップ・メタバース支援事業（鹿児島市）

■メタバース運用に向けた取組

【目的】

- ①学校や教育支援センター、民間施設等に行けず、自宅で過ごしている児童生徒が、メタバースによる学習支援や相談活動を受けることで、多様な学びの場を確保する。
- ②児童生徒が、メタバース内におけるアバターによる交流活動等を通して、コミュニケーション力の向上を通してリアルな体験・交流活動への参加を促進する。



③フレンドステップ・メタバース支援事業（鹿児島市）

■導入に向けて（令和6年度）

【導入当初の方向性】

- ①一人一台端末で利用可能であること。
- ②ブラウザ上でアバターを介して活動できること。
- ③ビデオ通話、チャット、ゲーミエヒケーション機能などを備えていること。
- ④管理者として、参加状況のログが取得できること。（学校との連携のため）



③フレンドステップ・メタバース支援事業（鹿児島市）

■今後の方向性～成果と課題を踏まえて

【成果】

- ①登校できていない児童生徒と学校との連携
（声かけ、家庭訪問、端末貸与による連携等）
- ②様々な学びの場の提供（各種リンクの設定、コンテンツの開発）

【課題】

- ①継続して活動するための具体的な手立て
- ②リアルな活動への参加呼びかけと案内
- ③参加者増加に向けた広報周知の継続

③フレンドステップ・メタバース支援事業（鹿児島市）

■ 今後の方向性～成果と課題を踏まえて

【今後の取組】

- ①オンラインによる学習、相談の可能性の研究、情報収集
- ②各種リンク、イベントの紹介
- ③様々なコンテンツの作成
- ④学校との連携（出席扱いに向けて）



③フレンドステップ・メタバース支援事業（鹿児島市）

■委員会の考察

- ①浜田市の令和6年度不登校は、児童75人、生徒98人、計173人であり、その割合は小学校3.29%、中学校8.04%である。鹿児島市の小学校2.28%、中学校7.98%に比べても高く、鹿児島市など先進例を参考とした対策が待ったなしである。
- ②不登校児童生徒に対し、鹿児島市はメタバースにより取り組んでおり、浜田市としても検討すべき課題であり、ICTを活用した居場所づくり、学習機会の提供、学校との連携による出席扱いの検討などを進めるべきである。
- ③浜田市では民間団体から同様の提案もあり、行政の能動的な取組と民間との連携なども検討すべき課題である。

④稼ぐ市役所職員提案制度（指宿市）

【制度創設の背景】

①歳入の確保

「三人寄れば文殊の知恵」職員一人ひとりが、真剣に稼ぐための知恵を出してくれば、素晴らしいアイデアがきっと見つかる！

②職員の意識改革

「稼ぐ」を考え続ける事で、指宿の台所事情をいつも意識。
多くの職員が、稼ぐ事の難しさを学び、稼いだお金で市民に役立つ事業を始められる、そんな喜びを知ってほしい！

【応募】

- ①対象 市役所に勤務する全ての職員
- ②募集期間 令和5年7月1日～7月31日
- ③応募総数 251件



④稼ぐ市役所職員提案制度（指宿市）

【応募総数251件の内訳】

- ①公有財産活用関係 駐車場有料化や庁舎貸付など
- ②広告関係 紙コップ広告やゴミ袋広告など
- ③物品等販売関係 温泉や京田湧水の販売など
- ④税や補助金等関係 宿泊税や科研費など
- ⑤その他 地域通貨やご当地キャラクター、イッシー捕獲大作戦など



④稼ぐ市役所職員提案制度（指宿市）

【選考基準のポイント】

- ①歳入確保 歳入確保の効果があるか、効果が大きいかについて評価
- ②実現性 実現性の高さのほか、即実施可能な提案であるかについて評価
- ③具体性 提案書の「提案の詳細」が、具体的な内容となっているかについて評価
- ④独創性 発想の着眼点が面白い、ユーモアやアイデアに富んでいるか、また、市民への発信力やアナウンス効果が 高いかどうかについて評価

審査項目	配点	評価区分					評点
		5	4	3	2	1	
歳入確保	5	とても効果が大きい	効果が大きい	効果がある	効果が少ない	効果が期待できない	
実現性	5	とても実現性が高い	少し時間がかかるが実現性がある	時間がかかるが実現性がある	とても時間がかかるが実現性がある	実現性がほとんどない	
具体性	5	とても具体的である	具体的である	概ね具体的な内容である	具体性にやや欠ける	具体性に欠ける	
独創性	5	とても独創的である	—	独創的である	—	独創性に欠ける	

④稼ぐ市役所職員提案制度（指宿市）

■優秀提案 6件

【大賞】 指宿港海岸レンガメッセージメンバー募集

指宿港海岸の公園、通路、休憩場所などに、「名前」、「指宿への思い」、「海岸に対する思い」などの自由なメッセージを、有料で刻印したレンガを設置するメンバーを募集。メンバーが再び指宿市を訪れることで宿泊、地元商品の購入などによる経済効果を期待。

【アイデア賞】 航空会社への広告付き紙コップの提供

市が航空機内の飲料サービス提供の紙コップを制作、鹿児島空港発着の航空会社は無償提供、紙コップには事業者から募集した広告を印刷し、市が広告収入を得る。

【審査員賞①】 特産品ゆるキャラでがっちり！ ～ Okura Parade (オクラパレード) プロジェクト

日本一の生産量を誇る農産物等をテーマに子どもや若者をターゲットとした特産品公式キャラクターを作成し、LINEスタンプを販売。

④稼ぐ市役所職員提案制度（指宿市）

■優秀提案 6件

【審査員賞②】 「かもんちゃん」プロデュース

かいもん山麓ふれあい公園のマスコットキャラ「かもんちゃん」の魅力を広め、「かもんちゃん」は商品化しやすいフォルムで、LINEスタンプ、ステッカー、文具、紙コップ、帽子などの商品化で収入を得る。

【ユニーク賞】 子どもの遊び場・学び場

親子で楽しめる子育て施設として、唐船峡を「お仕事体験」の場として活用、子ども達は「お仕事体験」として唐船峡で働き、働いた分の給料を「あかし商品券」として受け取る。

【努力賞】 スマホのまちいぶすき

指宿市内限定で利用できる決済機能付きアプリを導入し、同アプリ内に様々なサービスを搭載し、市の歳入増加や歳出削減だけでなく、「指宿全体を豊かなまち」にすることを目指す。地域Payを構築し地域Payをふるさと納税返礼品に設定し、ふるさと納税の増額を見込む。

④稼ぐ市役所職員提案制度（指宿市）

■ “感じたこと”と“これからの展開”

- ① 若手職員の積極的な提案
→ モチベーションアップ、生き生きと働ける職場づくり
- ② 多数の職員からの提案
→ 職員の創意の高揚、政策提案能力の育成
- ③ 『稼ぐ市役所』の壁
→ 稼ぐことの難しさ（実現性、具体性など）市がすべき事業？
市ができる事業？
- ④ 優秀提案の事業化
「指宿港海岸レンガメッセージメンバー募集」の実施
- ⑤ 『稼ぐ市役所』から『稼ぐ指宿市』へ
市のみでは実現が難しいようなアイデアについては、地元事業者のリソースを活用（提供・協力）できるような枠組みの検討
- ⑥ 別テーマでの提案募集
『最大のムダはなにか』～最高のサービスを最少のコストで～などのテーマで、時期を見ながら次回の職員提案制度を検討

④稼ぐ市役所職員提案制度（指宿市）

■委員会の考察

- ①地域の立地条件（指宿海岸、開聞岳、唐船峡など）、特産品（農産物おくら）、次代を見越したSNSなどこれらを題材とする、活用する、売り出すなどの発想がみられ、評価できる職員提案制度である。
- ②職員提案制度は、職員の創意を収益化に結びつける先進的な取組であり、職員の成長の機会となり、若手職員の意欲向上や政策提案力の向上につながっており、参考としたい。
- ③敗者復活提案など、組織として職員の発案を尊重し、楽しみながら参画できる工夫が随所に見られ、制度が職場のチームワークづくり、役所全体のモチベーションの向上につながっている。